

# 議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 中塚正春

## ひな人形の集会場

- 審議議案 12月定例会について …………… 2～3
- 一般質問 9人の議員が質問 …………… 4～8
- 議会報告会・議会日誌 …………… 9～10

# 12月定例会

12月定例会を12月24日に開催しました。9人の議員による一般質問のうち、条例案件4件をはじめ、指定管理者の指定案件5件、その他案件2件、予算案件4件が提案され、報告2件がありました。全ての議案は原案通り可決しました。また、港湾地域活性化特別委員会設置の発議が提出され、賛成多数で設置することが決定しました。

## 審議した主な議案

### 補正予算

一般会計(第6号)  
追加補正予算額

3億3711万円

(総務費)  
返礼用特産品等

6600万円

手数料 4400万円

ふるさとづくり基金

積立金

1億1000万円

ふるさと納税寄付金

が大幅な増加となったため、特産品へ3割、ふるさと納税サイトへ手数料2割を支払い、残り5割を積立金として計上します。

避難行動要支援者管理システム構築業務委託

723万円

小豆島地域公共交通

協議会負担金

1622万円

オリーブバスの交通

災害が発生した場合、住基情報と連携させることにより、要支援者の情報を提供するとともに避難所の密集を避けられるよう、効果的な避難指示や支援等を実施することに活用します。

### (衛生費)

新型コロナウイルス

ワクチン接種事業費

795万円

冷凍庫、冷蔵庫の整備など、新型コロナウイルス予防接種に関する事業費です。

Q 機具やシステム等、どういう体制になるのか。

A 速やかに接種が出来るように、国がマイナス70℃の冷凍庫を準備し、町は接種記録を管理するシステムとマイナス20℃の冷凍保存が可能な冷凍庫2台と薬用冷蔵庫2台を準備する。接種場所として町内2カ所を考えている。

Q インフルエンザはワクチン接種が受けられない状況となったが、コロナのワクチンはどうなのか。

A 国が確保しているワクチンは3社あり、3億回分確保している。これからの課題としては医療スタッフの確保が必要であり、県と相談しながら実施する。

インフルエンザはワクチン接種が受けられない状況となったが、コロナのワクチンはどうなのか。

A 国が確保しているワクチンは3社あり、3億回分確保している。これからの課題としては医療スタッフの確保が必要であり、県と相談しながら実施する。

億回分確保している。これからの課題としては医療スタッフの確保が必要であり、県と相談しながら実施する。

### (農林水産業費)

かがわ6次産業化促進

整備事業補助金

155万円

認定農業者が直売所を整備するための補助金です。

森林害虫等防除事業補助金

1097万円

ナラ枯れ被害が拡大しているため防除委託を増額補正します。

### (商工費)

小豆島ブランド

推進委員会貸付金

800万円

小豆島ブランド推進委員会が誘客多角化等

のための実証実験に採択され、その国庫補助金が支給されるまでの事業資金の貸付金です。

オリベックスうちのみ

内装等修繕料

657万円

オリベックスうちのみの経年劣化やシロアリ被害に対する内装修繕料です。



オリベックスうちのみ

小豆島オリーブ公園

芝生広場整備工事費

690万円

オリーブ公園の芝生広場の整備工事費です。風車前広場等の修繕を行います。



オリーブ公園芝生広場

### 二十四の瞳映画村受付窓口感染症対策事業補助金

500万円

映画村受付窓口改修のための補助金です。新型コロナウイルス感染症対策として窓口の改修、POSレジの導入等を行います。



二十四の瞳映画村

### (土木費)

### 道路改良舗装工事費

35万円

町道（宮の浦線）拡幅工事費について増額補正しました。

Q 工事場所はどこなのか。

A 特別支援学校建設予定である池田小学校西側の町道である。



町道（宮の浦線）

### (教育費)

### 小豆島こどもセンター

### 空調設備工事費

1400万円

小豆島こどもセンターのエアコン更新のための工事費です。

### 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

91万円増額の19億9078万円となりました

た。要因は税制改正に伴うシステム改修費です。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

58万円増額の3億1308万円となりました。要因は税制改正に伴うシステム改修費です。

### 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

116万円増額の21億1753万円となりました。要因は税制改正および要介護認定審査事務に係るシステム改修費です。

### 条例の改正

### 町職員の特殊勤務

### 手当に関する条例

新型コロナウイルス感染症に関する業務に従事した者に対する特殊勤務手当を創設しました。1日につき4千円までの手当を支給します。

### 町営住宅条例

民法および公営住宅法の改正に伴い改正します。町のホームページでの募集および利息について改正しました。

行政手続きにおける個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

個人番号の利用可能な事務として、従来は保育料の計算に必要な所得証明を保護者の住所から取り寄せていましたが、教育委員会が照会できるように改正しました。

Q 該当者は年間どのくらいいるのか。他市町の状況はどうか。

A 他市町からの転入者は55人であった。県下では2市で同様な条例がある。

### 国民健康保険税条例

地方税法施行令の改正に伴い控除額の増減について改正します。

### その他

### 指定管理者の指定

指定管理者の指定期間終了に伴い、改めて指定管理者を指定しました。期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までです。

### 一般財団法人

### 小豆島産業科学研究所

### 小豆島産業会館

### 一般財団法人

### 小豆島ふるさと村

### 小豆島ふるさと村

### 一般財団法人

### 小豆島オリーブ公園

### 小豆島オリーブ公園

### 小豆島町健康生きが

### い中核施設(サン・

### オリーブ)

### 小豆島オートビレッ

### ジYOSHIDA

### 辺地総合整備計画

新たな計画として、二生辺地に橋梁の長寿命化が追加されました。

### 発議

### 港湾地域活性化

### 特別委員会

草壁・高松間フェ

リーが令和3年3月31

日をもって休止される

旨の届け出があり、地

場産業、観光客の受け

入れ態勢や草壁港周辺

地域への影響等が懸念

されるため、各港湾地

域の利活用について調

査・研究・検討を行う

こととし、港湾地域活

性化特別委員会を設置

しました。

なお、この発議は賛

成多数により可決され

ました。選任された委

員は次の通りです。

委員長 森 弘章

副委員長 浜口 勇

委員 鍋谷真由美

安井 信之

森口 久士

藤本 傳夫

柴田 初子

中松 和彦

# 12月定例会 一般質問

通常であれば1人40分で実施していますが、今回は町内のコロナウイルス感染症患者の発生状況を鑑みて、1人1問、制限時間20分で実施しました。

柴田 初子（7P）

- 運転免許証返納支援にタクシーチケットも

森 崇（7P）

- 草壁港～高松港間航路について

中松 和彦（8P）

- 町広報誌への折り込み等の利用に際する規定は

鍋谷真由美（8P）

- 新型コロナウイルス感染症対策は

森 弘章（4P）

- 裾野の広い島の観光産業、コロナ禍での町の中核施設の今後は

浜口 勇（5P）

- 世界の人たちが好んで食する食品の開発を

大川 新也（5P）

- 迫る航路存続への英断

安井 信之（6P）

- 町長の政治姿勢について

森口 久士（6P）

- 交通安全対策に関して

一般質問

**質問** 町の観光中核施設であるオリブ公園、ふるさと村は、本町の設置条例において、町民のスポーツ、文化、産業の振興に寄与する場として位置づけられており、昨年は、瀬戸芸効果もあったことから、多くの来訪者の下、盛況裏に終えたが、今年はコロナ禍の影響により厳しい経営環境にあると聞いている。両財団の直近の運営状況、集客見込み、また、今後の運営状況によつては、一般会計基金等からの支出も見込まれるのか。



森 弘章 議員

また、両施設とも整備から相当の年数が経過しており、近い将来、大規模修繕、改修が必要と思われるが、今は町有財産でもあり、工事費は町営住宅等と同様、一般会計で対処す

る事になると思われるが、ウイズコロナ、アフターコロナへの対応も含め、今後の整備計画は。

**裾野の広い島の観光産業、コロナ禍での町の中核施設の今後は**  
町「公社将来ビジョン検討会を設置、中・長期的の方策を検討している」

**答弁** 両財団における現在までの運営状況は、概ね、4月から6月の第1四半期が1割、第2四半期が4割、その後はGOTOトラベル、また、県、町独自のキャンペーン等の効果により11・12月は7割と回復の兆しをみせていたが、その後の第3波の到来、町内2カ所でのクラスターの発生報道により入込客は激減、共に資金繰り、経営状況は大変厳しいものがある。

手持ち資金の状況は、日本政策金融公庫及び民間金融機関の融資、また、新型コロナ関連の給付金・助成金並びに支払い猶予制度の活用により、現在のところ基金の取り崩し等は予定していない。ふるさと村の収入の柱、国民宿舎は築後46年、オリブ公園各施設は30年が経過、その他の施設も老朽化しており、改修については基金の状況、また、今後の施設の方向性を今一度再考するため、10月に有識者や関係団体の代表者による公社将来ビジョン検討会を設置、新型コロナ対策を含めた、中・長期的の方策を検討している。



国民宿舎 小豆島



浜口 勇 議員

# 世界の人たちが好んで食する食品の開発を

## 町「観光体験と連動させ、商品の新しい

## 枠組みづくりに取り組んでいく」

**【質問】**

コロナ禍で世界中の産業とりわけ交通、観光関係業界は打撃を受けている。しかし、人間にとって食品は生命を維持するためには大切である。昔から食品産業で島の経済を支えてきたが近年の食品産業はかつてのような元気が感じられない。島内の雇用を守るためにも、地場産業である食品製造業界は、新型コロナウイルス禍の下でもさらに頑張ってもらいたい。いかなる状況になろうとも世の人たちが好んで食する食品づくりとこれを広めるため、内外の知恵を結集する手だてを町が取るべきだと思うがどうか。

**【答弁】**

食の嗜好は時代とともに変化しており、ネット通販の拡大や健康志向の高まりなど時代の変化を見据えた新たな取り組みが必要である。

小豆島ブランド推進委員会を設立して企業の垣根を越え、島の優れた地域資源の価値を正しく認識し、そのストーリーを発信し、地

**【質問】**

8月末、住民には寝耳に水の「草壁・高松航路を休止。池田航路に2便増便申請して一本化」という一方的な申し入れが出された。

住民は困惑し、ぜひ航路の存続をとの要望が多く寄せられた。休止を見込んだ池田航路2便増便は納得のできない申し入れと思う。

12月中旬に四国運輸局からの意見照会に対する回答が迫っているが、どのような回答をするのか。

また、先日の運輸局長への要望書持参時の結果は。仮に認可された場合、今後生活航路確保へ町の対応策は。



大川 新也 議員

# 迫る航路存続への英断

## 町「わずかでも可能性が

## ある限り、存続を目指す」

**【答弁】**

この航路再編計画は住民はもちろん、町にとっても唐突な出来事であった。

町としても航路存続を望む住民の声を踏まえて、両備グループを始め関係機関へ再三にわたり存続を働きかけてきた。

増便は港湾管理上の支障はないとの回答をせざるを得ない。運輸局も現状では年明けには認可の方向である。ただ住民会

議の動きにより、一定の条件が整えば他の航路事業者参入の意向もある。

運輸局に対しては、増便申請については慎重な対応をお願いし、運航ダイヤ確保



小豆島の地場産品



草壁・高松間航路の存続を



安井 信之 議員

## 町長の政治姿勢について

### 町「総合的な視点に立ち冷静に判断し、取り組みを進めている」

**質問** 一步下がって全体を見た行政運営を行うことが必要では。

**答弁** 町長就任以来、小豆島町長として町全体を俯瞰し、各種の政策や施策を立案し、実行してきた。今回の草壁・高松航路の問題についても、本航路の重要性や必要性を総合的に判断した結果、本航路の存続が必要であるとの考えの下、この問題の発生以降、終始一貫した対応を行っている。

住民の意向を的確に捉えることはもとより、本航路の重要性や必要性、また本町の均衡ある発展、地域の活性化など、総合的な視点に立ち冷静に判断

し、取り組みを進めている。取り組みを進めていく。

**再質問** 合併後15年たち地域感情が出てくることは、行政運営としてはいかがなものか。

**答弁** 就任以来、終始一貫して町全体を俯瞰しているつもりだが、そういった地域感情が出るということは本当に難しい話だと思っている。そのあたりは十分に説明をしていきたい。住民感情、地域感情はあるべきものではないと考えているので、そういった施策を今後とも展開していきたい。

一方、学校統合について、状況が変わったので今後検討していきたいということ、町



長選挙でもそういったことを申し上げた。ただ、コロナ禍においては、3校あつてよかつたところもある。少子化が進んだ段階でどうするのか、そのあたりも現在検討している。今後とも住民感情で町をどうしようという町内でのめんどごとというのは極力避けていきたい。



森口 久士 議員

## 交通安全対策に関して

### 町「効果のある啓発活動を模索していく必要がある」

**質問** 県民の交通安全意識の高揚と交通安全の向上を図るため、香川県交通安全県民会議主導の下、令和2年年末年始の交通安全県民運動が展開された。

**答弁** 町独自のキャンペーンにこだわらず、小豆島町交通安全対策協議会や警察とも協議して、安全運転につながるような啓発活動や対策ができないのか。

**再質問** 県民会議から決まった分のキャンペーンというけど、プラスはできないのか。

**答弁** 大勢で街頭に出て行うキャンペーンだけではなく、ドライバーはもとより、自転車、歩行者を含めた交通安全の向上につながる、さらに効果のある啓発活動を模索していく必要がある。

ドライバーレコーダーは単なる記録以外にドライバーの心理面から交通事故発生減少への効果も大きいと考えている。現在町民向けの設置に対する補助制度の創設を検討している。

冬のキャンペーンは、それぞれの地域の実情に依じたことができる。多くの方に交通安全の啓発というのは、大々的にやるのではなく、小さな単位で小まめにしていくことが必要だと思う。

**答弁** 県のキャンペーンの方針は、毎回活動の要項が出ている。

冬は寒いので、交通安全の啓発活動は、効果も大きいと考える。現在町民向けの設置に対する補助制度の創設を検討している。

決まった分のキャンペーンというけど、プラスはできないのか。



交通安全緊急キャンペーンの様子



柴田 初子 議員

## 運転免許証返納支援に タクシーチケットも

町「実現可能性の調査を開始したい」

**【答弁】** バス回数券は平

**【質問】** 町では運転免許証返納時に、オリーブバスの回数券を年に6冊、3年間配布の支援をしている。しかし足が悪くなりバスの乗降ができない。バス停までは距離があるのでバスに乗れないとの声もある。実質回数券を3年間受け取りしている人数は。

返納後、行動範囲を縮めることなく生活ができるよう回数券とタクシーチケットを併用する考えは。

成22年度から10年間で756人に支援している。約9割の人が3年間全て受け取られている。ありがたい制度であると好評なので継続していく。

制度開始時に比べて

高齢化率はますます高くなっている。

悲惨な交通事故の報道によって、自主返納に対する社会的機運やその必要性も高まって

きている。

高齢者の交通事故を抑制し、日常生活における移動手段の多様化を図り、外出支援を充実するため、タクシーチケット採用に向けて、実現可能性の調査を開始したい。

まずはオリーブバス、それからタクシー事業者との協議によって課題等を洗い出し、財政負担等の調査をしながら検討してまいりたい。



オリーブバス回数券



森 崇 議員

## 草壁港～高松港間航路について

町「わずかでも可能性がある限り

航路存続に向けて取り組んでいく」

**【質問】** 草壁港から高松

港の航路休止を知ったのは8月28日である。新造船が走ると期待していたので驚いた。航路休止をいつから知っていたのか。

船会社の諸事情を無視できないことを理解はしているが、免許証を持っていない人、高齢者や障害のある人は大変だ。私は署名を集め、町民も「草壁・高松航路存続を考える住民会議」を結成し活動している。若者もアンケートを取っている。以前、住民に意見を聞くために町政懇談会を開催したが、今回予定はあるのか。

また新しい法律「交通政策基本法及び強くなやかな国民生活の

実現を図るための防

災・減災等に資する国土強靱化法の一部を改正する付帯決議」が12月1日に可決したがその内容は。

**【答弁】** 草壁～高松航路

は重要な交通手段である。すべての港が住民の暮らしと産業を支える機能を担っている。航路集約の話を知ったのは8月25日である。わずかでも可能性がある限り航路存続に向けて取り組んでいく。

町政懇談会については、コロナウイルス感染症が拡大しているのが困難だと考えている。

新しい法律の交通政策基本法の改正部分には対応すべき社会情勢として人口減少が新たに盛り込まれている。



# 一般質問



中松 和彦 議員

## 町広報誌への折り込み等の利用に際する規定は

### 町「掲載基準を定めている」

**【質問】** 町の広報誌は、毎月末日頃に町内全戸に配布され、日々の生活に活用されている。

12月号の広報誌には、内海フェリー休止を巡ってアンケートが添えられており、時宜を得た非常に興味深い試みであり、関係される方々のご苦労に頭が下がる思いだ。

このアンケートの実施主体は「小豆島町青年団」と書かれているが連絡先は表示されていない。

町広報誌の利用規約はどうなっているのか。

**【答弁】** 町広報誌への折り込みは掲載基準を定め、公共的団体は利用が可能となっている。

青年団団長より相談があり、内容が航路に関すること、また公共的団体であることから判断した。

内容については、3度アドバイスをしたが、指摘を受けた問い合わせ先の点については、十分ではなかったと考える。

本件を教訓とし、今後の広報誌の作成・折り込み原稿の確認に生かしていきたい。



鍋谷真由美 議員

## 新型コロナウイルス感染症対策は

### 町「飲食業への支援を検討したい」

**【質問】** 全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、町内でもクラスターが発生した。経済優先の全国一律のGOTOトラベルは中止すべきだ。また、「大規模・地域集中的なPCR検査」「病院・介護施設等への社会的検査」を必要がある。

PCR検査の拡充や医療機関・医療従事者への支援強化、雇用や営業を守る仕組みの継続と拡大などが必要だと考えるがどうか。

現状や小豆島中央病院の医療体制の状況は。中止した成人式の延期の要望があるがどうか。

本町では、27人の感染が確認され極めて警戒すべき状況である。

小豆島中央病院の医療提供体制は、県から医師、看護師等の派遣、無症状者の高松市の宿泊療養施設入所などで維持されたが、新たな感染拡大が起これば、通常の医療により多くの影響が出かねない厳しい状況である。

11月1日以降、小豆島中央病院と民間の3診療所でPCR検査を行えるようになったが、予防、スクリーニング的なPCR検査を大規模

小豆島中央病院の医師、看護師等の派遣、無症状者の高松市の宿泊療養施設入所などで維持されたが、新たな感染拡大が起これば、通常の医療により多くの影響が出かねない厳しい状況である。



簡易診察室（陰圧テント）

# 議会報告会

小豆島町議会は初めての試みとして、町内4カ所の公民館で議会報告会を開催し、多くの住民の方に参加していただきました。

改めてお礼申し上げますとともに、参加された方からいただいたご意見の一部を紹介いたします。

## 草壁公民館

- 草壁・高松間航路について通院等でも利用しており残ってほしい。
- 寒霞溪のナラ枯れ被害が拡大しているが対策はどうなっているのか。
- ワクチン等、新型コロナウイルス対策はどうなっていくのか。



## 苗羽公民館

- 議会の内容については議会だよりに掲載されているので別のテーマを取り上げてみればよいのでは。
- 島民、そして小豆島が一体となった活動が必要であり、フェリー問題についても町民大会を実施するような活動をしてはどうか。



## イマージュセンター

- 池田小学校と隣接して建設される特別支援学校はどのような方が利用されるのか。
- 定住促進事業で移住された方の定着率はどのぐらいなのか。
- 一般質問について、質問と答弁だけで終わっているように見えるがどうなのか。



## 安田公民館

- コロナの影響で食品産業や観光産業が傷んでおり、議会として何かできないか。
- 島外の人や島外の病院へ通う人が小豆島中央病院を受診してくれるような方法はないか。
- 人口を増やす施策としてテレワーク等が考えられないか。



# 議会報告会

アンケート結果について

- 1 参加数  
 苗羽公民館 7人  
 安田公民館 11人  
 草壁公民館 43人  
 イマージュセンター 11人
- 2 議会報告会の希望回数  
 年1回 22人 年2回 35人  
 年4回 9人 その他 2人
- 3 開催単位  
 旧 町 6人 小学校区 19人  
 公民館 44人 その他 1人
- 4 テーマ  
 議会だより 39人  
 予算・決算 10人  
 フリートーク 27人  
 その他 6人
- 5 自由意見(抜粋)  
 ・報告会に参加させてもらって大変勉強になった。  
 ・周知方法についてもっと大勢が参加するような取り組みが必要である。  
 ・地元住民の意見を吸い上げる場として活用していくのも一つかと思う。  
 ・コロナや航路休止など不安が増す時期に、顔が見える報告会は有意義だと思った。  
 ・報告会があると知り議会だよりについて中身をよく読んでみた。  
 ・議会のインターネット中継を早くに行うべき。

## 小豆郡町議会議長会

### 研修会

11月13日に小豆郡町議会議長会研修会を開催しました。

福知山公立大学名誉教授の富野暉一郎氏をお招きし、「地方議会と議員の役割」についてご講演をいただきました。

特に一般質問について、行政側からいかに条件を引き出せるかの手法について、逗子市長時代の体験を交えながらのお話は大変興味深いものでした。



# 議会日誌

10月～12月までの主な議会活動についてお知らせします。

## 12月

- 4日 小豆郡町議会議長会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 第4回定例会

## 11月

- 7日 小豆島町戦没者追悼式
- 9日 指定管理者選定審議会
- 10日 議会活性化特別委員会
- 13日 小豆郡町議会議長会研修会
- 16日 議会報告会(苗羽公民館)
- 17日 議会報告会(安田公民館)
- 19日 議会報告会(草壁公民館)
- 20日 議会報告会(イマージュセンター)
- 30日 議会運営委員会
- 第5回臨時会
- 小豆地区広域行政事務組合議会臨時会

## 10月

- 6日 広報編集特別委員会
- 7日 議会運営委員会
- 第3回臨時会
- 議会活性化特別委員会
- 13日 池田小学校視察研修
- 22日 橘こども園視察研修
- 29日 徳島文理大学包括連携協定
- 30日 議会運営委員会
- 第4回臨時会

## 編集後記

昨年を振り返ってみると、本当にコロナウイルスに翻弄(ほんろう)された1年でした。数々のイベントや地域行事が中止になり、悔しい思いをした方も多いのではないのでしょうか？目に見えないものへの対応の難しさを改めて痛感しています。

さて、昨年の11月には議会として初めての「議会報告会」を開催いたしました。議会だよりもこの最終ページは議会の活動内容を報告するページに変更しています。

皆さまには少しでも議会に触れる機会を今まで以上に増やしていただき、興味・関心をさらに高めていただければ幸いです。

三木 卓記

本紙に対するお問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061  
 E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp